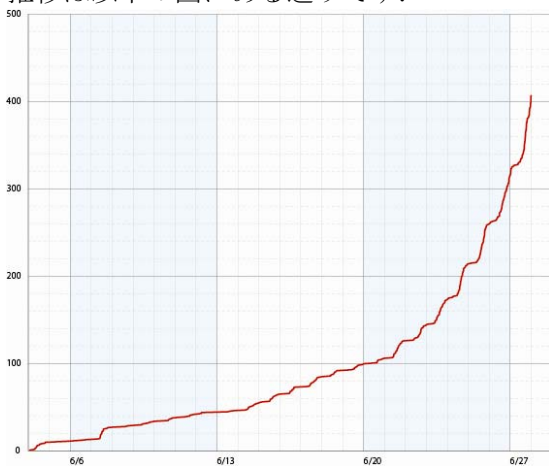


18. 2010年度秋季総合分科会の一般講演オンライン申し込みについて

2010年度秋季総合分科会の一般講演申し込みでは、オンラインシステムを始めで導入しました。

a) オンライン申し込みの結果について

一般講演申込の総数は481講演、そのうちオンライン申込は405講演で、オンライン申込の利用比率は約84%でした。郵送で申込のあった76講演については、学会開催校でオンラインシステムに登録を行いました。なお、オンライン申し込みシステムのシステム的なトラブルは発生しませんでした。また、講演申し込みの時間的推移は以下の図にある通りです。



オンラインで申し込みのあった講演については、講演タイトル・講演者氏名・講演者所属の入力を行わずに済んだため、学会プログラム編成の準備の労力が非常に軽減されました。このような事務量削減に加えて、各分科会の一般講演の情報を担当の評議員と共有できたために、プログラム編成に関する援助をしていただきました。また、事務局との情報共有の下での共同作業もスムーズなものになりました。

一方、プログラム編成終了後に、申し込み済みの一般講演一覧を公開しましたが、数十件に上る修正依頼がありました。そのほとんどは申込時に共同講演者の氏名を書き忘れたものの追加依頼でした。

b) アブストラクト作成について

PDFファイルとしてオンラインシステムにアップロードされた一般講演および特別講演のPDFファイルをマージして、各分科会連絡責任評議員宛にCD-Rとしてアブストラクトの電子データを送付しました。一部の分科会では、そのままPDFファイルを電子入稿をしていただきました。

なお、多数の人が作成されたPDFファイルを単にマージしてしまうと、埋め込みフォントの欠落が発生することがあります。今回は、フォントの欠落が発生しない方法でPDFファイルをマージしました。この問題はシンポジウムの予稿集を作成する場合などにも起こり得ますが、これを回避するノウハウについては、

<https://app.mathsoc.jp/>

に順次公開する予定です。

c) 最後に

今回のオンライン講演申込・アブストラクト投稿は、トラブルもなく大変円滑に終了しました。とはいうものの、プログラム編成のための管理者ツールに若干の不具合があって分科会評議員の皆さんにご迷惑をおかけしました。このことに限らず、今回の実施にあたっては分科会評議員の皆様と事務局の皆さんのご助力に大きく支えられてきました。ここに、ワーキンググループの総意として深く感謝いたします。

(オンライン講演申込・アブストラクト投稿WG委員 内藤久資 記)